

思いをとどける  
未来をつくる！



Center of Japan  
日本のと真ん中  
信州辰野町

# たつのまち 議会だより



冬の朝(樋口)いいまちたつの知らせ隊

## 2025年 ほたるの里 中学生議会開催 ②



|               |    |
|---------------|----|
| 議会報告・委員会レポート  | 4  |
| タウンミーティング     | 8  |
| 12月定例会一般質問    | 9  |
| 「町長」×「議長」特別対談 | 16 |



辰野町議会  
ホームページ



辰野町議会  
Facebook



辰野町議会  
YouTube

# 2025年 ほたるの里 中学生議会開催



11月4日(火)辰野町役場議場において、議会主催の中学生議会が開催されました。辰野中学校では総合の時間を利用してグループで調査を重ね、代表者8名が質問しました。両小野中学校ではアントレプレナー学習の中で中学生議会に向けて学習を深めた2名が質問しました。



いちのせ さや  
**一ノ瀬 咲耶** 議長  
(辰野中学校)

**感想** 中学生議員は町への提案準備として全学年で総合学習を行い、辰野町の良い点と改善点を個々に出発点としました。その後、より良い町にするための具体的な方法を多角的な視点から議論し、今日の提案に集約しました。これは、中学生が一生懸命考え、調査した内容です。この貴重な機会に耳を傾けてくださった皆様に感謝し、提案が一つでも生かされ、辰野町が「住み続けたい町」になることを強く願っています。

質問順位  
1番



ほりうち じゅい  
**堀内 珠泉** 議員  
(両小野中学校)

## 親水公園の整備と観光スポット化について

**質問** 駒沢川の親水公園について、認知度向上と有効活用のために、案内看板や遊具、トイレの設置、駐車場や休憩所(東屋)の整備、イベント開催による観光スポット化をしては。

**答弁** 遊具や東屋は河川管理者との協議や維持管理の課題があるが、ベンチや植栽、キャンプなどのアイデアは地元の皆さんと相談しながら検討を進めたい。

**感想** 課題探しを通じて、地域に何が必要か考えるようになった。

質問順位  
2番



いわもと しんご  
**岩本 紳吾** 議員  
(辰野中学校)

## ウォーターパーク跡地の利活用を

**質問** 閉鎖されたウォーターパークの跡地について、若者の流行を取り込むため、スケートボードやパークールができるパークへの転用を提案したい。

**答弁** 災害時の拠点となる多目的広場として整備することになっている。スケートボード施設やパークール施設の設置は難しい。利用できる場所が提供できないか管理業者に相談する。

**感想** 辰野町を活性化して、住みやすく町民全ての笑顔があふれる町にしていきたい。

質問順位  
3番



ちの ももこ  
**茅野 桃子** 議員  
(辰野中学校)

## 中学校へのユニバーサルデザイン導入について

**質問** 校内のアンケートで30%が必要であると回答。生徒用玄関のスロープ設置など、小さなことからユニバーサルデザインを広げては。

**答弁** 「インクルーシブ(包摂的)」の観点から重要。エレベーターは費用的に困難だが、できる部分から取り組む。認知度の低さは教育委員会だけでなく町も啓発に努める。

**感想** 準備は大変だったが町へ意見を発信できる良い経験ができた。良い町を目指し関心を持ち続けたい。

質問順位  
4番



にいむら ゆうま  
**新村 悠真** 議員  
(辰野中学校)

## ほたる祭りの歩行者天国の拡張とPR強化を

**質問** ほたる祭りを町民が自慢できる祭りにするため、「歩行者天国の範囲拡大」、「町長によるSNS動画発信」、「紙のポスターなど紙媒体の周知強化」の3点を要望したい。

**答弁** 歩行者天国拡大は警備費増や住民の不便さを伴うため慎重だが、SNSと紙媒体の両方でPRに努めたい。特にSNSでは「ぴっかりちゃん」などを起用し、「伝える力」の強化を図っていく。

**感想** 貴重な体験ができた。人前での意見発表で活かしたい。

質問順位  
5番



みやいり さき  
**宮入 咲姫** 議員  
(辰野中学校)

### 駅周辺の学生向け フリースペース整備について

**質問** 辰野駅周辺の活性化と若者の居場所づくりのため、学生が自由に勉強や交流できる場所が必要。新設が難しければ、既存施設の改修を要望する。

**答弁** 既存施設のうち「茶の間」を、学生向けに利用しやすいよう変更を検討していく。図書館など既存の場所活用も含め、若い世代の意見を反映させたい。

**感想** 今回の体験から、意見を述べるときには根拠を明確にして述べることを意識していきたいと思った。

質問順位  
6番



いむら あつ  
**飯室 篤** 議員  
(両小野中学校)

### 町内にゾーン30を増やし 通学路のスピード抑制を

**質問** 通学路でスピードを出す車が多く危険。ゾーン30の範囲拡大や、グリーンベルトの塗り直しやハンパの設置などをする考えは。

**答弁** 辰野町で初めてゾーン30ができたのは小野区。令和8年9月より生活道路等で30キロ規制を予定。ハンパやグリーンベルト等の速度抑制策の実施には、地元の協力・合意が必要。まずは地元区長等へ伝える。

**感想** 準備に時間はかかったが、自分の町に対する意見を発表することができてよかった。

質問順位  
7番



ぬくい たまき  
**貫井 珠喜** 議員  
(辰野中学校)

### 駅前商店街に 駐車場の設置を

**質問** 商店街には素敵な店が多い。にぎわい創出のためには、町内外の人が訪れやすい環境を作ることが大切。近くに広めの駐車場を設置する考えは。

**答弁** 商店街の駐車場不足に対し、看板設置や意見交換を通じて訪れやすい環境を整え、街の賑わい再生を検討する。

**感想** 15年も住んでいるのに知らないことがたくさんあった。町のいい所をたくさんの人に伝えたい。

質問順位  
8番



いとう たけと  
**伊藤 毅人** 議員  
(辰野中学校)

### 街灯とカーブミラーの 整備で安全な道を

**質問** 辰野製パン協の道に街灯を増やせば夜間の事故を防げるのでは。また、荒神山付近のカーブミラーが目立たない場所にある。車の往来が多いので整備する考えは。

**答弁** 街灯は場所によって管理者が異なる。質問の場所は住宅も増えているので地元区と相談して検討する。カーブミラーは現地調査をし、住民の意見を聞きながら対応する。

**感想** 自分の意見を伝える貴重な経験ができた。これからも町の課題を見つけたい。

質問順位  
9番



たけい みお  
**武居 美音** 議員  
(辰野中学校)

SNSを利用して町の  
特産品をPRしては

**質問** 町には魅力的な特産品がたくさんあるのに、若者に情報が届いていない。InstagramやTikTok等で動画配信しPR活動を強化しては。

**答弁** 若者への情報発信にはInstagram等が大変有効。特産品等の魅力を発信していきたい。今年度からほたる祭りやふるさと納税返礼品などのショート動画を作成し、SNSで発信を開始した。今後も注力していく。

**感想** 提案できて良かった。今後も自分たちにできることをして、町の成長に貢献したい。

質問順位  
10番



かわかみ あやな  
**川上 紋奈** 議員  
(辰野中学校)

空き家を活用し  
町の活性化を

**質問** 現在、空き家バンクの活用が進んでいるが、さらに移住者を増やすために、空き家を整備し、賃貸後に安価で販売する制度を導入する考えは。

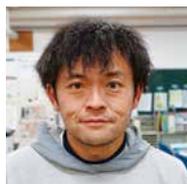
**答弁** 物件購入前に賃貸で住んでもらい、購入するかどうかが検討してもらう方法を取り入れている。今後、子育て世帯の移住を考える際、提案内容を含めて研究する。

**感想** 自分たちの思いが受け入れられていることを実感できた。今後も辰野町に協力を大切にしたい。



**大野田峻平** 先生  
(辰野中学校3年担任)

中学生議会に参加した生徒たちの堂々とした姿は、とても印象的でした。緊張しながらも、自分たちの意見をしっかりと伝える姿に感心しました。生徒たちは「住み続けたい町」をテーマに、空き家の利活用やユニバーサルデザインの普及、駅周辺の施設充実などを提案しました。彼らの新鮮な視点が反映され、世代や立場を超え町民全員で創る辰野町になることを心から願っています。



**高橋光司** 先生  
(両小野中学校3年担任)

本校の生徒が議会に参加させていただき、ありがとうございました。自分たちが住む地域を知ること、課題を見つけ、どのようにすれば解決できるのかを時間をかけ考えることができ、良い学習の機会となりました。日常生活の中では、なかなか気づけない課題も、地域について真剣に考えたからこそ気づけることができました。そして、解決策を考え、当日堂々と発表できたことは、生徒にとって良い体験となりました。



## 第8回 臨時会 11月21日

### 4議案：補正予算、人事…全議案可決・承認・同意

- 令和7年度一般会計補正予算（第7号）専決
  - ▷ 灯油・ガソリン等購入券助成金  
補正額 1,415万円 増額
- 令和7年度一般会計補正予算（第8号）
  - ▷ 防災行政無線、緊急通報サービス ほか  
補正額 1,410万9千円 増額
- 介護保険特別会計補正予算（第2号）
  - ▷ 補正額 3,836万6千円 増額
- 副町長の選任について
  - ▷ 中谷 俊禎（なかや としたか）氏

## 第9回 定例会 12月1日～12月16日

### 21議案：補正予算、条例審査、指定管理等…20議案可決 1議案否決 辰野町公の施設の指定管理者の指定について（湯にいくセンター）

#### 一般会計補正予算（第9号）

- ▷ 土地購入費、道路維持費、給与改定ほか  
補正額 8,498万4千円 増額

#### 一般会計補正予算（第10号）

- ▷ 職員の懲戒処分による減、給与改定ほか  
補正額 467万円 減額

#### 特別会計補正予算

- ・ 上水道事業会計補正予算（第1号）  
補正額 972万4千円 増額
- ・ 下水道事業会計補正予算（第1号）  
補正額 39万3千円 増額
- ・ 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）  
補正額 1,177万7千円 増額
- ・ 介護保険特別会計補正予算（第3号）  
補正額 242万8千円 減額
- ・ 辰野病院事業会計補正予算（第1号）  
補正額 4,540万9千円 増額

**問** 運転資金にあてるため、病院事業債（経営改善推進事業）1億3,000万円を借りる利点は。

**答** 町の繰入れに頼らず独自の資金繰りを目指す。

#### 公の施設の指定管理者の指定について

- ・ しだれ栗森林公園 ・ 地域活性化センター
- ・ ほたるの里世代間交流センター ・ 湯にいくセンター

#### 条例審査議案

- ・ 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ・ 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について
- ・ 手数料徴収条例の一部を改正する条例について
- ・ 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ・ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ・ 上水道事業給水条例の一部を改正する条例について
- ・ 公共下水道条例の一部を改正する条例について
- ・ 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び特別職の職員で常勤のもの等の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ・ 特別職の職員で常勤のもの等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

**問** 町長の処分は軽くないか。基準等の検討は。

**答** 顧問弁護士による法的な見地からの助言で、懲戒処分等審査委員会が判断した。

#### その他議案

- ・ 議案第14号の撤回について（指定管理者の指定）

## 請願・陳情審査

※陳情第10号は、請願・陳情等の取り扱い基準により町外から郵送のため文書配布のみ

### 陳情 第9号

「診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げ」を求める陳情書  
提出者：長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子氏  
長野県社会保障推進協議会 代表委員 宮沢裕夫氏 他5名 意見書：提出あり

本会議／採 択

賛成12 樋口、林、牛丸、吉澤、古村、松澤、高木、小澤、本田、向山、小林、津谷  
反対1 栗林

### 陳情 第11号

「餌やり猫及び生活困窮者の猫の避妊去勢手術助成制度の創設」を求める陳情  
提出者：ハッピーテール代表 東野律子氏 意見書：提出なし

本会議／採 択

全会一致 賛成13

## 議員提出議案の審議

### 発議 第1号

「診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げ」を求める意見書の提出について  
[提出先] 内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣

審 議／可 決

賛成12 樋口、林、牛丸、吉澤、古村、松澤、高木、小澤、本田、向山、小林、津谷  
反対1 栗林

指定管理者指定案を否決した経緯

総務産業常任委員会（12/12委員会付託議案審議）

【選定の経過説明】

- ・ 2社の応募があり、A社は総合得点826点、平均点63.5点。B社は総合得点805点、平均点61.9点。審査の結果、A社（株式会社サンアメニティ）を選定した。
- ・ 指定管理料について、5年間総合計でA社が1億9,256万7千円、B社が1億1,050万円で2社ともに前回（令和3年～7年）5年間の指定管理料1億232万2千円より上がっている。

【主な質疑】

**問** A社とB社の指定管理料に大きな差があるが、町側の見解は。

**答** これまでの実績や安全性に対する対応等を考慮し、金額が高くてもA社が良い。現在の湯にいくセンターの運営を指定管理で運営するとした場合、利益相当分を含め一般管理として計上してきたと受け止めている。

**問** 今回の提案が議会で否決された場合は、どのような対応になるのか。

**答** 審査会に差し戻して指定管理料の減額はできないか、次点者をお願いするか、直営にするか、湯にいくセンター自体を休止するか等、さまざまな方法がある。指定管理料が上がる中で議論は必要だが、町民の福祉向上のために継続実施で進めることが町の基本方針。

【討論意見】

- ・ A社の示す指定管理料を払って継続実施するかの判断を求められていると考える。現在、72,000人の利用者がおり、町に施設は必要と考えるので賛成。
- ・ 企業が利益を出すことは、何ら悪いことではないし、あたり前のことである。前期の赤字分を上乗せしたことに反応が強く出てしまっているが、利益を計上したことに問題ないと思っているので賛成。
- ・ 指定管理料が、5年間で9,024万円もアップする。一般管理費の内容が、明確でないため反対。
- ・ 付帯意見のように議決されたのちに指定管理料を減額する保証はない。確約できないとすると、現在提出された資料や金額で判断しなくてはならないが、指定管理料が大きく、納得できないため反対。

※採決の結果、賛成3人、反対3人で同数となり、委員長裁決で否決すべきものと決しました。

12月定例会本会議（12/16委員長報告、採決）

【主な質疑】

**問** 委員会審査において、指定管理者の選定にあたり町が指定管理料の目安（基準額等）をあらかじめ設定していたかどうか、また、その点について質疑応答が行われたか。

**答** 目安になる指定管理料の基準についての議論はなかった。

【討論意見】

**賛成意見（古村）** サンアメニティ社の指定管理料増額は、高品質なサービスと長期的な安定運営のための戦略的投資であり妥当である。安さより質と安定性を選定基準として優先すべき。原案否決による施設休止は住民福祉や防災体制に支障をきたすため、同社の選定を強く支持する。

**反対意見（樋口）** A社（サンアメニティ社）は、5年間で1億9,256万7千円、B社より8,206万7千円も高い。評価採点方式の審査点数A社は826点、B社は805点。この21点が、金額の差を逆転する採点基準・採点方法に疑問を感じる。ほぼ倍増の契約は認めることはできない。

**賛成意見（向山）** 指定管理料が大幅増額になっているが、これまで赤字であり、今後の人件費や光熱水費の上昇等を見込んだもので、適正な積算と考える。サンアメニティ社は、年中無休、町内一円の送迎バス定期運行、子どもや高齢者への優遇措置等も継続するので適切な選定である。

**反対意見（吉澤）** 物価高でも町が払う指定管理料倍化の提案は、納得できない。管理者選定委員会も高いと指摘。実績ある町内業者より、指定管理料が約8,200万円も高い町外業者を選ぶのは不合理である。みのわ温泉「ながたの湯」は、指定管理料0円。税金の使い方を考え、再選定をすべき。

本会議／否 決

賛成 5 古村、松澤、本田、向山、津谷  
反対 8 樋口、林、牛丸、吉澤、栗林、高木、小澤、小林

# 総務産業常任委員会

12月10日(水)、12日(金)に総務産業常任委員会室にて審査を行いました。

## 条例審査

■議案第1号 辰野町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

問 国の人事院勧告を受けて実施としているが、県の勧告に基づいて進めることはできないか。

答 現在は、上伊那8市町村で足並みを揃えて実施。

■議案第3号 辰野町手数料条例の一部を改正する条例について

□提案理由 オープンデータの活用促進に向け、地図情報システムや航空写真等のデータ交付手数料を改訂するもの。

問 地番図等のデータ交付、全町一式だと20万円から6万円と非常に大きな金額変更になる。地図情報システム用形式は、全町一式で500円とある。変更根拠は。

答 これまでは、紙画像を300円で交付し、全町一式で658枚、約20万円を要していた。今回の改正により、画像データ形式が変わり、国の情報公開制度に基づき1枚210円、312枚で交付でき約6万円。地図情報システム用形式については、近隣市町村の運用実績を踏まえ500円とした。

※採決の結果、上記2議案は全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第16号については、5ページに記載しました。

## 指定管理の指定

■議案第17号 辰野町公の施設の指定管理の指定について(しだれ栗森林公園)

問 指定管理料の増額は適切か。

答 人件費・最低賃金の上昇を加味し、業務委託費で差額が出ているが一般管理費等に差はなく妥当と判断。

■議案第18号 辰野町公の施設の指定管理者の指定について(地域活性化センター)

現在3期目の指定管理者からの応募。指定管理は500万円。

問 今年の収支はどうなっているのか。

答 収支プラスマイナスゼロで運営できている。同社は利益を追求するつもりはなく、社会貢献の一環としている。

■議案第19号 辰野町公の施設の指定管理者の指定について(ほたるの里世代間交流センター)

現在の指定管理者、辰野町社会福祉協議会を選定し、現在3期目。

問 支出の人件費を予測して総額を算出し、5年間に割り振ったのは無理があるのでは。

答 最低賃金の上昇5年分を見据え、若干上乘せ予測しているので、適正であると考えている。

※採決の結果、上記3議案は全員一致で可決すべきものと決しました。

## 令和7年度 総務産業常任委員会視察研修報告書 10月7日(火)～9日(木)

地域振興や人口増加に寄与している「道の駅」や先進的な自治体を視察し、今後の施策の参考とするため研修を行いました。

### 群馬県川場村

農業を基軸に観光、林業、教育を連携させ、交流人口の拡大と雇用創出を実現しています。道の駅は直売や体験機能を備えた滞在型拠点として定着しており、辰野町における新たな地域拠点を検討する上で多くの示唆を得るものでした。



### あぐりーむ昭和(群馬県)

農業・体験・交流を軸に、農産物直売や食育活動、6次産業化が進められ、地元住民に日常的に利用されている点が印象的でした。まえばし赤城では、官民連携による運営のもと、観光拠点にとどまらず、地域生活の拠点として機能しており、辰野町でも施設整備を考える上で大変参考となりました。



### 茨城県境町

ふるさと納税を財源に、行政と「さかいまちづくり公社」が一体となり、干し芋や鰻加工などの産業創出、自動運転バスやアーバンスポーツ施設の整備を推進しています。財源確保と政策実行を結び付けたスピード感ある町の決断力と実行体制の重要性を学びました。



●視察研修をおえて：本視察で得られた経験をもとに、将来を見据えたまちづくりの推進と、道の駅設置検討の参考として、今後の活動に活かしてまいります。

# 福祉教育常任委員会

12月10日(水)に福祉教育常任委員会室にて審査を行いました。

## 陳情審査

■陳情第9号「診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げ」を求める陳情書

### ○陳情に賛成意見

- ・利用者の数は増加傾向にあるのに、報酬が増えていかない状況が続き、人手不足が懸念されている。
- ・全国の自治体病院の9割が赤字経営であるが構造的な問題で、報酬そのものを上げていくべきである。
- ・介護施設では、満床でも赤字だと聞いている。赤字構造を解決するには報酬の引き上げしかない。
- ・一般的な給与水準が、他の業界より8万円ほど低い状況にある。他の職種と遜色ない水準に上げていく必要性があると感じている。

### ●陳情に反対意見(趣旨採択)

- ・内容的には理解するが、10%という数字の根拠が不明である。民間主要企業の平均引き上げ率の5.52%と比較しても根拠が乏しい。また財源確保についての懸念があるため趣旨採択とすべき。

※趣旨採択にすべきか採決の結果、賛成1、反対5で賛成少数のため、再度原案の可否について採決しました。その結果、賛成5、反対1で採択すべきものと決しました。意見書提出については賛成多数で提出すべきものと決しました。

■陳情第11号 「餌やり猫及び生活困窮者の猫の避妊去勢手術助成制度の創設」を求める陳情

### ○陳情に賛成意見

- ・野良猫の増加とそれに伴う問題(生命、環境、糞尿被害等)は深刻であり、町としても対策に動くべき。
- ・町側も予算化に向けて動いている。
- ・去勢手術の費用が比較的安価な専門動物病院の存在も共有され、補助制度を充実させるべき。
- ・地域猫活動は、糞尿被害の問題があり、単に去勢するだけでなく、被害にあっている住民へのケアや、今後の検討も必要である。

※採決の結果、全員一致で採択すべきものと決しました。

## 令和7年度 福祉教育常任委員会視察研修報告書 10月22日(水)、23日(木)

福祉教育常任委員会は、公共施設再編や教育・福祉政策の指針とするため、先進事例を視察しました。

### ■富山県立山町

#### 【民間活力と複合化による拠点再生】

廃校となった小学校をIT交流施設として再生させた「谷口集学校」は、中古PC販売企業へ校舎を無償貸与により民間活力を導入し、年間6,000人超が利用する地域活性化の拠点となっています。地中熱空調システムを採用し、「ZEB」認証を受けた防災児童館「アカリエ」や、駅・

図書館・福祉を集約した「みらいぶ」を訪問。多機能を一体化し、世代を超えた交流を創出する「ワンストップ型」施設運営の重要性を確認しました。

図書館・福祉を集約した「みらいぶ」を訪問。多機能を一体化し、世代を超えた交流を創出する「ワンストップ型」施設運営の重要性を確認しました。



### ■富山県上市町

#### 【義務教育学校と地域医療の連携】

町内全小中学校を1校に統合する「義務教育学校」の計画を視察しました。PFI手法の検討や、住民・児童へのアンケートを通じた合意形成のプロセスは、本町の学校のあり方検討への大きな示唆となりました。医療分野では、「かみいち総合病院」を核とした在宅医療・介護の連携体制を視察。ふるさと納税による病院支援や、商業施設でのオンライン体操教室など、住み慣れた地域で安心を支える切れ目ない地域包括ケアシステム構築について知見を深めました。



●視察研修をおえて：本視察で得られた経験をもとに、辰野町の将来を見据えたまちづくりの推進と、道の駅設置に関する検討の参考として、今後の活動に活かしてまいります。

## 信州豊南短期大学 視察・意見交換 11月5日(水)

大学側は留学生受け入れを強化しており、その成否の鍵を握るアルバイト先の確保について議会や地域に協力を求めました。

- ・全国的に少子化が進む中における学生数確保の課題
- ・留学生受け入れに関する要望(アルバイト先の確保)
- ・観光コース新設による地域活性化やまちづくりへの貢献



# 町民と議員の **タウンミーティング** 開催しました!

議員が辰野町17区で開催してきたタウンミーティングが、新町区での開催で全区を一巡しました。

## 北大出区

開催日時 10月11日(土) 18:00  
参加人数 区民37人 議員12人

### 文化財保護と神社の維持管理

神社の社務所や神殿の傷みが激しいことから、文化財保護に対する町からの助成制度について質問。現在、町では文化財保護の補助制度はないが、文化庁が提供する補助金制度がある。しかし基本的には地域住民の寄付金で維持されている現状を説明した。

### 人口減少問題と子育て支援策

人口減少は日本全体の問題であるが、子育て環境の整備として病児保育施設の設置、子ども家庭センターの設立など町の取り組みについて説明。子どもを育てる母親のひとりとして、子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる環境づくりの重要性を強調した。

### 高齢者福祉と地域連携

高齢者の緊急時の連絡先や医療情報の把握が難しい状況に対し、安心安全ボタンは冷蔵庫に保管され、緊急時に救急隊が確認できるシステム。今後はQRコードの活用も検討していると説明。地域コミュニケーションを通じた情報共有、見守り体制の重要性を強調。

### 松くい虫対策と松茸山の維持管理

松茸山の維持には組合だけでは難しく、水源地や道路の維持管理も含めて何らかの補助が必要。国の法整備が進んでいるが、予算面で課題がある。辰野町は赤松林が多いため、その保全が重要。



会場：北大出ふれあいセンター

## 小野区

開催日時 11月14日(金) 18:30  
参加人数 区民11人 議員8人

### 移住と教育の重要性

区民から、小野区はターン移住者の注目度が高く、「すぐに入れる戸建て」の借家確保が最重要。若い世代の移住促進には子どもの教育が不可欠であり、人数ではなく内容重視の教育への転換が求められている。フリースクールや山村留学など、革新的な教育のあり方を全国にPRし、教育を町の魅力として子どもを集めるべきとの強い提案があった。小学校を核として多世代が交流できる「地域の家」を整備し、高齢者の孤立防止と活力向上を図るべきと提言された。



会場：小野農民研修センター

### 産業とインフラ

働く場所の確保については、広い土地がない現状を鑑み、リモートワーカーやインターネットビジネスなど、空き家を活用できる小さな企業の誘致に焦点を当てるべきとの意見が出た。インフラ・公共施設については、「むらとしょ」などの交流拠点が評価される一方で、町長公約の道の駅やスマートインターといった大規模事業は、財政面や地域リスクから賛否両論があり、地道で実質的な生活向上につながるインフラ整備を優先すべきとの意見が強調された。

### 活性化への道筋

議員側からは、町が農振地を見直し、地域住民、町、議会の三位一体で、従来の考え方にとらわれない多様な学校のあり方や活性化策を模索していく姿勢が示された。

## 新町区

開催日時 11月20日(木) 18:30  
参加人数 区民22人 議員7人

### 防災・インフラへの懸念と対応

区民からの、防災無線が聞き取れず緊急時に機能しないことへの疑問に対し、議員は、町が来春から高齢者世帯などに戸別受信機を導入する方針を説明した。区民は、国道153号が交通に危険な状態でありバイパス化による車両分散が必要であると指摘。議員は、辰野バイパスの早期実現に向け要望を県へ提出予定であることを報告した。



会場：新町コミュニティセンター

### 町政運営と教育のあり方

町長公約のスマートICや道の駅構想に、区民は唐突感と財政的な懸念を示した。議長は、スマートICとバイパスは財政的に競合しないこと、道の駅は議会で研究中であると説明。区民から、議会の一般質問で町からの回答が「検討します」で終わることが多い点に不満の声が上がり、副議長は、追及質問の重要性を認識しており、議員の「熱量」が成果につながると認めた。小学校の統廃合問題について、議員は「あり方検討委員会」で小中一貫校なども含め検討中であり、小規模校のメリットも踏まえ、子どもに最適な形を慎重に研究している段階であると説明。この他、熊対策や松枯れ問題への対応についても質疑が行われた。

区民の皆様と直接お話のできる貴重なお時間をいただきました。今後の議員活動に反映させたいと思います。今後は別の方法での開催を予定しております。またご参加いただければ嬉しく思います。

## かやぶきの館温泉掘削の費用と未来の姿は

ひぐち ひろみ  
樋口 博美



**町長** 一般的に2～3億円 数年がかかる 慎重な検討が必要

### 辰野町の公共交通に関するアンケート調査は

- 質問** 公共交通アンケート実施の結果は。  
**答弁** 回答数は147件。今後の交通施策の検討に貴重な調査と認識。  
**質問** 回答数が人口の1%に満たない。交通弱者の意見収集は出来たのか。  
**答弁** 交通弱者の回答数78名で一定数収集できた。  
**要望** アンケート実施方法に問題がある。町民に寄り添った公共交通の実現を要望。

### 公約にあるスマートインターの実現は

- 質問** スマートインターはどこに、また費用対効果は。  
**答弁** この事業が出来るか、財源の確保も含めて検証していく。場所は個人的に案はあるが、多くの意見を聞く。

### かやぶきの館温泉掘削の未来は

- 質問** かやぶきの館の温泉掘削は。  
**答弁** 地域資源としての可能性はある。掘削ありきではなく、地域にとって必要かが重要。地域主導で考える場を作る。地質調査、事業可能性調査を優先。公費投入の妥当性、住民理解、民間連携など整理していく。現在、具体的な計画は存在しない。観光資源としての利用や健

康増進施設としての活用などが考えられ、費用の妥当性、町財政への影響など総合的に判断していく。

**要望** 事業実施で指定管理料が減るのであれば賛成だが、増えるようではやらない方が良い。しっかり検証して進めることを要望する。

### 辰野町の指定管理料（令和7年度）

| 施設             | 金額        |
|----------------|-----------|
| たつのパークホテル      | 1,500万円   |
| かやぶきの館         | 3,600万円   |
| 辰野未来館 アラバ      | 2,030万円   |
| 湯にいくセンター       | 1,967万円   |
| しだれ栗森林公園       | 440万円     |
| 地域活性化センター      | 500万円     |
| 世界昆虫館          | 100万円     |
| その他社会福祉協議会関係ほか | 2,594万円   |
| 総額             | 1億2,731万円 |

◎注目ポイント】 指定管理料：かやぶきの館 3,600万円、パークホテル 1,500万円、湯にいく 1,967万円

## 給食費保護者負担軽減事業の拡充、無償化の実現は

くりばやし としひこ  
栗林 俊彦



**町長** 給食の質を維持し、保護者負担を増やさないように運営

**答弁** 財源の確保や給食の質を維持する仕組みが大きな課題。食育に力を入れ、地元食材を多く取り入れた栄養バランスの良い給食の提供に努めていく。

**質問** 3歳未満児の保育料無償化への取り組みは。  
**答弁** 多子世帯や低所得世帯に対し、保育料の負担軽減を実施。実施可能な支援策から取り組みを進める。

### 公共施設・公共空間を積極的に活用する考えは

**質問** 「茶の間」やボランティアセンター、図書館のふれあいルームを中高生世代が居心地よく使える場所に。  
**答弁** 中高生向けの企画やイベントを実施するなど、中高生が行きたくするような施設運営をしていただく。

**質問** 辰野駅に「子育て支援センター」を移転し、地域活性化センターとの連携による辰野駅周辺の活性化は。

**答弁** 辰野駅周辺には多世代が利用できる施設が比較的近い場所に集約されており、その合理的な利活用により一定の活性化が見込めるものと考えているが、「子育て支援センター」の移転は、エレベーターやトイレの整備など施設自体の改修が不可欠となり、短期間で移転し、利活用を進めることは難しい。

### GIGA スクール構想とICT教育の成果と課題は

**質問** GIGA スクール構想の成果とセカンドステージであるNEXT GIGAに向けた計画は。

**答弁** 小中学校の児童生徒用端末、無線LAN、大型掲示装置、実物投影機等、ICT教育環境整備を実施。令和7年度から令和8年度にかけて、1人1台端末について町内小中学校の全端末の更新を行い、ネットワーク環境についても、アクセスポイントの移設、増設を行う予定。

**質問** 端末の利活用頻度と学習速度・学習到達度の評価と指導等に関する課題は。

**答弁** 個別最適な学び、共同的な学びの活用に、学校や学年、クラスによる差が出ていると考え、ICT支援員による支援や研修を実施。文部科学省で作成している先進事例を参考に活用場面の拡大を図っている。



辰野駅周辺

◎注目ポイント】 少子化対策は、子育てがしやすい環境づくりを進め、女性や若者に選ばれるまちづくりを!



まつざわ ちよこ  
松澤千代子



## 町長が積極的に進める企業誘致とは

**町長** 企業誘致に含まれる企業留置にも注力していく

### 企業誘致推進のため農振除外の考えは

**質問** どのような手だてをお考えか。どこから手を付けていくつもりか。農振を外して広い土地を確保し企業誘致を進める考えはあるか。

**答弁** まずは企業訪問で動向をつかむところから進めていく。辰野町では、企業誘致をするための土地がないため用地交渉から始めるが、農振除外等時間がかかるため、町内企業の動向に沿った留置に努めていく。

**質問** 働く世代に宅地の提供を。

**答弁** 町が持つ分譲地はいくつかあるが、なかなか売れない状況だ。

### 通学路脇擁壁のチェックを

**質問** 「気候変動による大雨災害」と言えるほど、全国的に擁壁の崩壊が増えている。町としても通学路脇の石垣や擁壁のチェックをしてほしい。

**答弁** 通学路の点検は毎年行っている。危険個所のブロック塀や擁壁の所有者には、改善を促していきたい。

### 国内短期留学制度の利用で移住定住の促進を

**質問** 移住定住促進に向けて国内短期留学を進めては。

**答弁** 今すぐその制度を導入するつもりはない。しかし、外国で暮らす日本人で長期休業中にお試し通学を希望する小中学生が毎年いるため、受け入れを行っている。

**答弁** 引き続き子育て世代の移住政策を推進していく。

### 庁内ベビールームの利用促進、情報発信は

**質問** ベビールーム設置の広報は充分か。搾乳もできるようにステッカーを貼ってほしい。

**答弁** 広報は町のホームページや子育てアプリにのせ、周知に努めていきたい。子育て全般に使用できるようベビールームという名称にした経緯がある。「搾乳もできます」のマークも付けたので利用してほしい。



ベビールームのステッカー

**注目ポイント** ママにとって、使い勝手の良いベビールームにしていく。



ほんだ こうゆう  
本田 光陽



## 空き家バンク不祥事、今後の対応は

**町長** 警察の捜査に全面的に協力する

### 空き家バンクの不正購入に関する今後の対応は

**答弁** 刑事告発と告訴手続きを進めながら警察の捜査に全面的に協力していく。1人の職員に権限が集中しないよう上席の職員がチェックできる体制整備が必要と考える。各課で点検を進めている。

**質問** 不正売買を巡り地域の不動産業者などへの風評被害の拡大が懸念されるが、そういった状況を把握しているか。町民に経緯を丁寧に説明し、事実と異なる情報は訂正していくことが求められると考えるが。

**答弁** 承知をしている。空き家バンクに関わる事業者には直接、今回の状況説明へ回っている。

### 公民連携を行う上での企業の選定基準は

**答弁** 公式な基準は設けていないが、町の政策目標に寄与しうるか、企業の知名度やノウハウ、地域での継続的な関与の見込み、町の実情とマッチしているかなどを念頭に選定する。現在、交渉にあたっている企業はあるがまだ公表段階にはない。

**質問** スマートインター、温泉掘削、道の駅など3つの大型ハード事業を公約で掲げているが、財源・人的資源などから現実的には一定の制約が伴うものとする。

現可能性と優先順位は。

**答弁** 現在の財政状況を考慮すると安易に進められる事業ではない。現段階では具体的にお話しできる段階には至っていない。これからの議論を通じて、実現に向けた課題や調整すべき事項を明快にし、優先順位を定めていく。

**質問** 公民連携のパートナー企業が撤退した場合のリスク管理は。

**答弁** 事前に十分な契約や協定を結ぶ体制を整えることが重要。契約段階で、撤退に関する条件を明確化し、責任分担の規定が求められると考える。



空き家の活用が進む下辰野商店街

**注目ポイント** 武居町長3期目公約実現へ、リーダーシップを。

## 町長の考える支援の必要な子へのサポート体制は

たかぎ ちか  
高木 智香



### 町長 支援体制強化のために児童発達支援事業所を設置する

**質問** 民間の児童発達支援事業所等と連携し、今後事業所設置に向けて検討していく考えは。

**答弁** 町内外の事業所から聞き取り等をし、先進事例を参考にしながら、様々な意見を取り入れて検討する。

#### 小学校と中学校卒業時に祝金支給を

**質問** 祝金（出産祝金除く）や通学カバン支給等、子育て世帯への支援制度は、県内23町のうち18町にある。辰野町でも祝金を設けては。

**答弁** 現時点で祝金は考えていないが、どのような支援が一番良いのか考える。

#### 電車を利用して通学する中学生の定期代全額補助を

**質問** 羽場駅から宮木駅までの定期代は年間約2万円、中学3年間で約6万円かかる。交通費がかからない生徒が多い中で不公平と考える。町が全額補助しては。

**答弁** 祝金と同様、現時点で補助は考えていないが、子育て期間全体を見て必要な支援を考える。

#### 令和7年6月に開所したぴっかりハウスの運営状況は

**質問** 現在の利用登録者数と利用状況は。

**答弁** 登録者数は154名。開所前の昨年度、箕輪町にあるいちごハウスへの登録者数は81名だったので、町内

に施設ができた効果は大きい。利用者数は126名（町内119名、町外7名）。月平均21名の利用がある。

**質問** これまでに見えてきた課題とその対応は。

**答弁** 現在3名体制で運営しているが、代替要員が少ないため、急な欠勤などの調整が課題。今後、利用者数の増加が見込まれるため、体制強化の検討をしている。また、職員の感染リスクの懸念はあるが、事前に病状が把握できるため必要な対策をしている。

#### 役場や町民会館などに給水スタンドの設置を

**質問** ゼロカーボン推進のために、給水スタンドを設置する自治体が増えてきているが、設置する考えは。

**答弁** 現在給水スポットとして役場で案内している所は奥にあり利用が少ない。マイボトル普及のために、役場以外の施設でも気軽に給水できるように、スポットの案内を強化する。また、近隣市町村にある給水スタンドの取り組みを研究する。



岡谷市役所にある給水スタンド

◎注目ポイント 定期代の質問は、新聞に掲載されていた「町に求めることは」の質問にあったものです。

## 国保税大幅値上げ抑制のため、町の財政支援は

よしざわ みつお  
吉澤 光雄



### 町長 適切で独立した財政運営のため、支援の予定はない

#### 国保税値上げは

**質問** 国保税は協会健保の1.3倍、組合健保の1.7倍も高い。国の支援強化が必要だが、町にもできることがある。今回の値上げの内容と今後の見通しは。

**答弁** 国保は赤字続き。他市町村より低い国保税を県の標準保険料まで上げ、資産税割を廃止する。

**質問** 私の試算では、子ども子育て支援金分約7%を含めると、平均24%で1人平均2万2千円の値上げになる。値上げを抑える効果がある国保基金への支援は国も認めている。伊那市はここ数年で2億円以上繰り入れし、値上げを抑えている。町もできないか。

**答弁** 財政支援は考えていない。

**意見** 町の普通預金（財政調整基金）の住民1人当り残高は伊那市より多い。ぜひ支援を。

#### 町民入浴割引は

**質問** 町営の日帰り入浴施設が3つもあるのは、町の魅力の一つ。しかし入浴料を値上げした2施設の利用者は大きく減り、一方で町負担の管理料が増えている。日帰り入浴施設の損益分岐点の利用者数は何人か。

**答弁** 湯にいくセンターは、現在より3万人多い10万人。他は複合施設なので、算出していない。

**質問** 町営入浴施設は町民が使ってこそ価値があるし、税金も生きる。ながたの湯とながた荘は基本的には入浴料などで運営し、町の持出しはないそうだ。町として町民に入浴割引を行い、町民にもっと使ってもらい、経営改善も図ってはどうか。

**答弁** 町として割引対応は考えていないが、指定管理者と相談していきたい。



湯にいくセンター

#### 地区懇談会は

**質問** 町長が出向く地区懇談会を積極的に開いては。

**答弁** 来年度開催してもらえよう、区に声掛けする。

◎注目ポイント 日帰り入浴は利用者を増やせば黒字になることが分かりました。増やす方法を考えましょう。



うしまる よしや  
牛丸 圭也



## 両小野バイパスについて 町長選挙遊説時の発言内容は

**町長** ルート帯案選定の動きに乗り遅れないよう体制づくりをしたい

### 町長選挙での発言については

**質問** 両小野バイパスについての発言の内容は。

**答弁** 重要な幹線道路でありながら、冬の通行止めや幅員狭小といった安全上の問題がある。塩尻市と連携し、期成同盟会と共に早期事業化を目指したい。

**質問** 両小野学園についての発言の内容は。

**答弁** 深刻化する少子化の影響を踏まえ、子どもの教育を最優先に、検討委員会や地域の意見を踏まえて学園の今後のあり方を検討していきたい。

### 町内中学生の一部にクマ鈴が配布されなかったのはなぜか

**答弁** 町管轄の小中学校へのクマ鈴配布を迅速に実施したが、塩尻市管轄の組合立両小野中学校への配布については、管轄教育委員会の違いから当初予定がなく、辰野町民の中学生への個別郵送も中学校側での配布決定により見送られた。結果、生徒への安全対策物資の提供に時間差と不公平感が生じ、組合立学校における自治体間連携の課題が顕在化した。

### 空き家・移住政策については

**質問** 戸建て賃貸のニーズが多いようだ。

**答弁** 空き家バンクの約9割が売却希望のため賃貸物

件が不足している。任意賃貸期間付き売却※を空き家所有者に提案し、賃貸物件を増やして移住者を確保したい。※数年間の賃貸後に借主が購入希望すれば売却できる制度

**質問** 空き家で展開できる中小企業を誘致しては。

**答弁** 製造業などは空き工場が少なく誘致に結びついていない。空き家等改修補助制度が空き工場に対しても適応できることをPRし、地域おこし協力隊と連携して誘致を進める。

**質問** 小野町屋敷住宅分譲地が売れないが対応は。

**答弁** 子育て世代増加を目指し、区画が大きすぎるといった意見を踏まえ、今後は区画を分割して購入しやすい価格設定にすることを検討し、売却推進に努める。



◎注目ポイント】3つ目の質問は小野区タウンミーティングと中学生議会から着想を得ました。



むかいやま ひかる  
向山 光



## 共生社会へ、日本語教育の現況は

**町長** 支援が必要な人に十分に届いているか把握できていない

### 共生社会に向けての日本語教育の必要性は

**答弁** 日本語教育を必要としている人々の数は把握できていない。

**質問** 日本語が母語ではない子どもへの対応は。

**答弁** 県教育委員会が辰野町へ支援専属の教員を配置しており、町費でも支援する先生を2人配置している。

**意見** 地球人ネットワークなどのボランティア団体などとも十分な情報交換をして、可能な対策の検討を。

### 公約実現への組織づくり、財源の考えは

**答弁** 事業の可否、財源確保できるかを検証したい。若手職員にも参画を促し、企画から実現までストーリーを語る職員を育てたい。主管の課をチームリーダーとし、自由な発想でそれぞれの意見を聞きたい。一般財源の持ち出しは限りなく少なくする必要がある。

**意見** 財源問題、厳しい目で見ることが必要。案が固まる前の段階から議会・町民の意見を聞くことが大事だ。

### 森林整備、松くい虫対策の方向性は

**質問** 森林整備へ向けての意向調査の進捗は。

**答弁** 町が森林整備の委託を受けても、周辺の森林との一体的な整備が必要のため進んでいない。実施方針を

見直し、効果的な意向調査と森林整備を進める。

**意見** 森林整備について見える化をし、各地区で実践をしていくための道筋を立てるべき。

**質問** 被害市町村として松くい虫対策の方向は。

**答弁** 国・県の補助金を活用して被害対策を進める。

### 戦後80年の取り組みの成果は

**答弁** 歴史を学ぶことの意義、戦争の理不尽さを次世代に引き継ぐことの大切さを訴える感想などが寄せられた。

**質問** 平和教育の今後の取り組みは。

**答弁** 学校向けにシベリア抑留に関するDVDが寄贈された。戦争の実態を知ってもらうために、展示などの継続が大切。次年度以降も引き続き戦争と平和をテーマにした事業を継続していきたい。

**意見** 若い世代へ二次体験として語り継ぐことが大事。

### その他の質問

女性が働き続け、キャリアアップもできる職場づくり



矢島良幸さん講演会「平和を祈る」

◎注目ポイント】松くい虫対策、まだ手遅れだとは思わない。着実に対応することが必要だと考える。

## 町長公約の実現に向けてまず何をするか

はやし まさみ  
林 政美



### 町長 調査研究チームの早期設置を図る

#### 第6次総合計画後期基本計画策定の現状は

**質問** 進捗状況とその後の進め方は。

**答弁** 後期基本計画原案を庁内で検討し、辰野町基本構想審議会での審議、住民へのパブリックコメントから広く意見や情報を集め、多様な意見を考慮し政策に反映させ、最終的な意思決定を行う。

#### 町長公約の今後の進め方は

**質問** 道の駅・川島での天然温泉の掘削・若者や子育て世代の居場所・スマートインターチェンジ等の新たな整備の目的と進め方は。

**答弁** 地域の活性化、観光資源、多様な形態の居場所、主要道路への交通分散による渋滞の緩和等が目的となる。公約実現への調査研究チームを早い段階でつくる。1月に課長会で協議し、その後段階的に組織する予定。

#### 土地利用計画による農振除外を

**質問** 春日街道沿線の道路整備と土地利用計画による農振除外の考えは。

**答弁** 企業誘致や産業振興への農地転用は慎重に考慮し、土地利用計画・農地の地域計画も視野に農業との調和を図る必要がある。

#### 上水事業のあり方は

**質問** 通水確保の現状と上水道事業のあり方、水道料金値上げへの住民の反応は。

**答弁** 水源の確保はできている。上水道関連施設の適切な維持管理により、安心して飲用できる管理体制に努めている。水道料金改定による暮らしへの影響を心配する声や家庭への負担増を懸念する意見が一部寄せられたが、一方で将来に向けて必要な取り組みという声もあり、住民の皆さんの理解は得られたと思う。

#### 農業振興ビジョンの策定状況と有機農業推進動向は

**答弁** 後期基本計画に合わせ見直しを図っている。農業経営の安定化により持続可能な農業の維持・発展を図るかが課題であり重点事項となる。有機農業推進の中で来年度から農家による野菜の有機種子生産の取り組みを推進していく。



春日街道沿線道路と農振農地

◎注目ポイント] 政治はスピード感と説明責任 町長の公約実現に向けての本気度は!!

## 付加価値を付けた持続可能な町をどう描くのか

こばやし こ  
小林テル子



### 町長 子どもが大人になっても自慢できる町 若者が挑戦できる町

**答弁** 人生の最後まで心豊かに暮らせる町を目指す。

**質問** 持続可能な町づくりにおける、立地適正化計画の役割は。

**答弁** 地域の活力を維持して、誰もが安心して住めるコンパクトな町づくりを進めるための計画で、従来の計画と、本計画の融合で新しい町づくりが可能になる。社会資本整備総合交付金等、国庫補助金を得るために重要な計画。

**質問** 県内22市町村（令和6年4月1日分まで）が計画公表済みだが、辰野町における計画状況は。

**答弁** 令和8年の早い時期に庁舎内の検討委員会を立ち上げる予定。公約実現に向けては立地適正化計画作成を意識しながら進めていく。

**質問** 辰野町の小野・川島以外の地域が含まれる（都市計画区域）コンパクトシティに向けた計画作成を確実なものとし実現するために、新たな担当部署の設置の考えは。

**答弁** 重要な検討課題だが、職員減少傾向で人員配置が難しい。検討課題とする。

**要望** 辰野駅前、宮木駅前、公共施設の再編、道路網の再編すべてにかかる計画。この部署への、人員の補強を要望する。

#### 辰野図書館のあり方の検討を

**質問** 現在の公共図書館、町図書館のあり方、使命については。

**答弁** 資料、情報の提供、生涯学習の支援、社会教育施設として、地域活性化にも貢献する幅広い使命があるとされているが、図書館の中核的使命が大事。

**質問** 図書館の来館者数はコロナ以後増加しているが、今以上に入りやすい施設にしていく考えは。近隣の下諏訪町・箕輪町・伊那市の図書館では、閲覧室以外では飲みものOK、昼食も別室でとれる等用意があるが。

**答弁** 辰野図書館も同様で、飲みもの持込可であるがお知らせが足りていないようである。

**質問** ふれあいルームを学習室として、また時間延長を。

**答弁** ふれあいルームはすでに18時まででは開放している。その後の時間は町民会館学習室を利用してほしい。



子どもたちに開かれた図書館

◎注目ポイント] 立地適正化計画ってどんなもの。計画を町民みなさんに知っていただきたいです。



おざわ むつみ  
小澤 睦美



## 川島での天然温泉掘削調査費用の予算化ができないか

**町長** プロジェクトチームで検討、実現可能な予算化を図る

### 武居町長3期目の公約実現に向けた取り組みは

**質問** 公約実現に向けた職員の意識改善とは。

**答弁** 今までできないと我慢をしてきたことについて、改めて対峙する中で本当にできないのか、工夫の余地があるのではないかと見つけ直して欲しいと伝えた。

**質問** 「道の駅」と「スマートIC」を併せ持つハイウェイオアシスを荒神山公園に設置する考えは。

**答弁** 「道の駅」をハイウェイオアシスに設置するとなると、他にもっと早く設置できる場所があるのではないかと意見も出てくると予想する。調査研究チームがスタートしたら、議論していきたい。

**質問** 台湾埔里の学校と交流している辰野高校と町との包括的な連携協定締結の時期は。

**答弁** 令和8年2月末までに締結する予定である。

**質問** 国際姉妹都市締結が可能かどうか、町長も現地を訪問し確認する必要があると思うが、表敬訪問の考えはないか。

**答弁** 実現可能かどうか検討したい。

### 農振除外による人口増加対策を

**質問** 全町の農振除外の見直しはできないか。

**注目ポイント** 武居町長3期目の公約です。

**答弁** 地域の実情に即し、居住環境の改善が定住効果を持つと判断される区域については、引続き個別に判断していきたい。

### 指定管理者制度におけるかやぶきの館の運営状況は

**質問** 前年対比でかやぶきの館の利用状況は。

**答弁** 宿泊・会食等については、前年を下回り、日帰り入浴については前年を上回っている。

**質問** 町は、管理運営について責任と権限を持っている。利用者の声を聞き指導・助言を行っているか。

**答弁** 利用者の声を日頃から指定管理者に伝え、改善指導を行い4半期ごと運営状況の把握に努めている。

### 「空き家バンク制度」における不正事案への対応は

**答弁** 相談記録の策定、情報共有の徹底を図る。また、全職員に対するコンプライアンス研修を実施する。



かやぶきの館に天然温泉



つや あきら  
津谷 彰



## 公約にも掲げている、若者の居場所づくりのビジョンは

**町長** 若者が求める居場所づくりを共に作り上げる姿勢を重視

### 職員の倫理教育を推進する具体的な取り組みは

**答弁** 弁護士による公務員倫理研修を予定する。複数人での事務体制を強化し、行動記録の徹底や、特定の職員に権限が集中しないようチェック体制を整備する。

### 若者の居場所づくりを具体的に進める取り組みは

**質問** 若者の居場所ユースセンターの設置の考えは。

**答弁** 辰野・宮木駅周辺に若者の居場所を検討する。財源的な制約から、既存不動産の活用や空き店舗の活用など、幅広い選択肢を視野に入れて議論を深める。

**質問** 居場所づくりに若者を参画させる考えは。

**答弁** 行政の都合を押し付けず、若者が望む居場所を共に作り上げていくことが重要。子どもの意見表明の機会を、高校生以上にも拡大し、将来的に子ども建設委員会へと発展させていくことを検討する。



若者の居場所 CHUKOらんどチノチノ調理室

### 過労死防止を推進する取り組みは

**質問** 職員や町内中小企業のメンタルヘルス支援をどのように充実させるか。

**答弁** 年一回のストレスチェックを実施し、高ストレスを抱えた職員に対しては産業医との面談を実施している。企業向けにハラスメント防止とコミュニケーションの大切さについての研修を行っており、企業からの要請に応じて職員が出向いて研修会も実施している。

**質問** 町民向けの自殺予防・ハラスメント防止に関する啓発活動と相談支援体制の強化の取り組みは。

**答弁** ゲートキーパー基礎講座を平成26年度から開催し、164名が受講している。心の健康づくり講演会や自殺予防週間・強化月間での啓発活動、心の相談カードの配布などを行っている。相談体制として、町の心の専門ダイヤルや心の相談室を実施し、職員研修としてもゲートキーパー講座を実施している。

### 民生児童委員の周辺制度を整える取り組みは

**答弁** 2人体制での見守りや地区担当の枠を超えた柔軟な対応、引き継ぎ書の統一、ICT導入による負担軽減などを進めていく。

**注目ポイント** 今回の質問のキーワードは「人」。すべての人が尊重され安心して暮らせるまちづくりを!

## 公民連携は具体的にどのような企業を考えているか

こむら みきお  
古村 幹夫



**町長** 現時点では企業名や交渉状況は明らかにできない

**質問** 公民連携の協定では、どのような分野や技術、人材、資金での連携を重視し、働きかけているのか。

**答弁** 現在、交渉・調整中の企業はあるが、個別の企業名や状況を公表する段階ではない。地域資源の価値向上や、地域経済の活性化につながるよう協議を進めており、方向性が定まったところで報告する。

**質問** スマートインターチェンジ計画の目的と期待される効果は何か。

**答弁** 経営者からの要望が多く、平成 25 年度以来 12 年ぶりに再検討する。アクセス向上による通勤時間の短縮、渋滞緩和、観光商業振興、救急搬送などの効果を期待し、事業費も含めて実現性を研究する。

**質問** 策定された辰野町森ビジョンは、森林の存在的価値が十分に記載されていないと感じる。町長の森林に対する認識は。

**答弁** 辰野町の総面積の約 87% を占める森林を基礎的・基本的インフ



森林の存在的価値を活かして

ラとして認識している。森林は水源涵養、災害防止、気候緩和、生態系維持など多面的機能を持ち、松茸などの特産品を育む場でもある。また経済的価値だけでなく、精神的・教育的価値など多様な価値を生み出す重要な基盤と考えている。

**質問** 辰野高校との包括連携協定締結について、どのような成果を期待しているか。

**答弁** 協定は、高等学校の教育充実、人材育成、まちづくり、安全・安心・健康・福祉・環境、その他必要事項の項目からなり、イベント等を通じ、地域活性化に取り組んでほしいと考えている。

**質問** 災害支援チーム (TTT) と防災重機準備室との連携強化はどのようなものか。

**答弁** TTT には県内の講演会や研修の紹介、防災重機準備室には訓練場所の提供などの支援を行う。

**質問** 内閣府の「避難生活支援・防災人材育成エコシステム」への参加の考えは。

**答弁** 関係団体と協議する中で、開催できるか研究していきたい。

◎注目ポイント 町長 3 期目の公約に対して質問させていただきました。

## 開校! 議員の学校

議会って何をするとところ? 議員は普段どんな活動をしているの? 議員のやりがいて? そんな疑問を解決し、議員としての基本をわかりやすく学べる全 6 回のプログラムです。 **受講料無料**

| 日程               | 主な内容             |
|------------------|------------------|
| 説明会 令和 8 年 3 月   | オリエンテーション、今後の説明  |
| 第 1 回 令和 8 年 4 月 | 地方議員とは何か? 役割と仕事  |
| 第 2 回 令和 8 年 5 月 | 各委員会の紹介と議会活動の実務  |
| 第 3 回 令和 8 年 6 月 | 議会定例会一般質問の傍聴     |
| 第 4 回 令和 8 年 7 月 | 自治体の財政と基本計画について  |
| 第 5 回 令和 8 年 8 月 | 辰野町の課題とこれからの議員像  |
| 第 6 回 令和 8 年 9 月 | 立候補に向けた準備と選挙の仕組み |

**参加対象** 18 歳以上の辰野町にお住まいで辰野町議会議員を目指している方、または関心のある方。

**募集期間** 令和 8 年 1 月 5 日～ 2 月 16 日

**お問合せ** 辰野町議会事務局 電話：0266-41-1111 (代)

12 月 16 日、長野県町村議会議長会の自治功労者表彰の伝達が行われました。この表彰は、長年にわたり地方自治の振興発展に貢献した町村議会議員を表彰する制度で、地方自治の円滑な運営と発展への功績を称えるためのものです。辰野町議会からは、小澤睦美議員と向山光議員が表彰されました。



小澤 睦美 議員



向山 光 議員

## 3 月定例会のご案内

開 会 3 月 2 日(月)

一般質問 3 月 9 日(月)・ 10 日(火)

委員会審査 3 月 11 日(水)・ 12 日(木)・ 13 日(金)

閉 会 3 月 17 日(火)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください。  
※請願・陳情についてはオンライン提出も可能となりました。



一般質問は役場 1 階の町民ホールと YouTube の生配信で傍聴できます。

# 議会だより100号記念「町長」×「議長」特別対談

2025年12月16日(火)、武居町長と舟橋議長が、議会だより100号発刊を記念した特別企画として対談を行いました。  
(聞き手:高木議員)

## 1. 議会だより100号発刊に寄せて、お二人から一言ずつお願いします。

**町長** 広報誌は、今の町の状況を町民にお知らせする非常に重要な媒体のひとつです。いかに情報を届けるかが重要で、文字だけでなく、レイアウトや写真で訴える紙媒体が良いと思っています。

**議長** デジタル時代になっても、町民の方にとって議会だよりは、議員の活動を知る一番の手立てです。100号は通過点として、これからも進化してほしいと思います。

## 2. それぞれの立場で取り組んできたこと印象に残る活動などをお聞かせください。

**町長** 私は商工会の経験から産業振興や企業支援、災害の経験から防災関係に注力してきました。根本にあるのは、「町民の幸せのために働く」ことです。足りない点は議会での討論から学び、現場に行き行って教わる姿勢で取り組んでいます。

**議長** 議員になった当初は、行政知識の吸収に努めました。議長職に就いた後半は、「議会全体をどう底上げするか」に重点を置きました。加えて「町民とのタウンミーティング」等を通じて、町民の声を聞くことが最も大切だと再認識しました。

## 3. 町民が行政や議会に特に期待していることは何だと思えますか。

**町長** 行政への期待は、「町民の幸せ」の実現です。幸せは「感じるもの」であり、町民一人一人が幸せを感じられるよう努力します。厳しい意見も真摯に受け止め、信頼回復に努めていきたいです。

**議長** 町民が議会に期待する一番は「町をしっかりと監視してくれ」ということです。また、議員個人に対しては、「何のために議員になったのか」と行動を問われます。厳しい目と応援、両方が我々にはありがたい存在です。

## 4. 行政と議会が目指すべき辰野町の未来像はどのようなものですか。

**町長** 行政も議員の皆さんの活動に学び、より開かれた行政になっていきたい。未来に向けて、町と議会が連携し、「安心して過ごせる社会」を目指していきましょう。



**議長** これからの議会は、行政の監視に加えて「政策立案」を通じて町の将来像を描くべきです。行政と議会が共に協力して町づくりをしていきたいと考えています。



## おかげさまで創刊100号「議会だより」の軌跡

議会だより検討委員会を発足し、研究・審議してきました。議会活動の全容が住民に認知されていない。議員の負担が増大しようとも積極的に情報発信すべきであるとの結論に達しました。(創刊号より引用)



記念すべき創刊号が2001年(平成13年)5月に発行されてから25年。創刊100号の節目を迎えるにあたり、表紙を見返し時代の流れやデザインの変化を追うことで「議会だより」の軌跡をたどってみました。

## 編集後記

議会だよりも回を重ね、幾多の改編もあり創刊100号となりました。議会だよりは、議員の活動状況を町民にわかりやすく伝え、議会への理解と町政への関心を深めてもらうことを目的としています。今回から新たに議会だよりモニター制度の取り組みを始めました。より親しみやすく町民に寄り添える広報誌となるよう、努めてまいります。

議会広報編集委員 林 政美